

指導主事訪問で数学科の研究授業を行いました。

10月19日（水）に、高校教育課の安藤剛指導主事が訪問されて、数学科の研究授業を行いました。内桶怜奈教諭が1年7組で、数学Ⅰの「2次関数の値の変化」について授業を行いました。

研究授業では、初めに、復習として、各自パソコンを使ってGoogleフォームで小テストをしました。その後、教科書の内容をもとにしたプリントを使用して、電子黒板で説明。そして、生徒がグループ学習で活発に意見交換をして、プリントに答えを記入しました。本時のまとめとして、生徒に質問しながら答えを板書しました。

本時は、「焼きそばを1パック（個）販売するのに50円のコストがかかる条件のもと、350円で400個、400円で300個、450円で200個が売れたとしたら、最も利益が得られる価格設定はいくらか」について2次関数を利用して求めました。

多くの教員が研究授業に参加して、一人一台端末の活用方法などについて見学しました。

【指導講評（要約）】

- ・授業の導入で、生徒に本時の目標と授業の流れをしっかりと理解させてもらいたい。
- ・そのためには、単元の指導計画の中で、その時間の目標を明確にしておくことが大切である。
- ・一人一台端末を効果的に使用して「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現が求められている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」につながるように授業改善していく必要がある。
- ・数学が苦手な生徒もいるので、机間指導で進捗状況やつまづきを確認することも大切である。
- ・教員の発する言葉が安定していることと、言葉の質が重要である。
- ・生徒の気持ちに寄り添って言葉をかけて、問題が解けた「喜び」と「自信」をもたせてもらいたい。

授業の導入



電子黒板でプリントの問題を説明



グループ学習で話し合い



授業のまとめ

